

【NEWS RELEASE】

2026年3月30日

各 位

株式会社三井住友銀行

「SMBC サステナブルファイナンス・フレームワーク」の公表について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕、以下、「三井住友銀行」）は、持続可能な社会の実現に向けたお客さまの取組を一段と加速させるため、新たに「SMBC サステナブルファイナンス・フレームワーク」（以下、「本フレームワーク」）を策定いたしました。あわせて、本フレームワークを活用した「グリーンローン」および「サステナビリティ・リンク・ローン」の提供を開始しますので、お知らせいたします。

1. 策定の背景

気候変動への対応や社会課題の解決は、企業の持続的な成長において避けて通れない重要課題となっています。しかし、従来のサステナブルファイナンスでは、お客さまごとに外部の第三者評価機関による評価取得が必要となるケースが多く、コストや手続きの煩雑さが導入のハードルとなっていました。

そうした状況を受けて、三井住友銀行は、国際的なガイドラインに準拠した包括的な本フレームワークを策定することで、お客さまがより簡便かつ迅速にサステナブルファイナンスに取り組める体制を整備いたしました。

2. 本フレームワークの特徴

本フレームワークは、日本国内居住のお客さまへの融資において、以下の特徴を備えています。

- ・ 手続きの簡便化とコスト削減

本フレームワークを活用いただくことで、お客さまは第三者評価機関による評価を受けていない場合でも、所定の要件を満たすことでサステナブルファイナンスとして調達いただくことが可能です。これにより、お客さまは評価コストを抑え、より手軽にサステナビリティ経営を推進することが可能となります。

- ・ 成長分野における資金使途への対応

デジタル社会の基盤となる「グリーンデータセンター」、昨今重要性が高まっている「気候変動への適応」（※1）および「ブルー（持続可能な海洋環境・水資源）」に関連する資金使途を含めており、幅広い事業領域での活用が可能です。

・高い透明性と信頼性の担保

本フレームワークは、ローン・マーケット・アソシエーション (LMA)、アジア太平洋ローン・マーケット・アソシエーション (APLMA)、ローン・シンジケーション&トレーディング・アソシエーション (LSTA) による国際原則である「グリーンローン原則」および「サステナビリティ・リンク・ローン原則」、国際金融公社 (IFC) による国際原則である「ブルーファイナンスガイドライン」、国際資本市場協会 (ICMA)、IFC、国連環境計画・金融イニシアティブ (UNEP FI)、国連グローバル・コンパクト (UNGC) 及びアジア開発銀行 (ADB) による国際原則である「Bonds to Finance the Sustainable Blue Economy: A Practitioner's Guide」、ならびに環境省による「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」に基づき策定されています。

策定にあたっては、第三者評価機関である株式会社日本格付研究所 (JCR) より、各原則・ガイドラインへの適合性について第三者評価を取得しています。

3. 今後の展望

三井住友銀行は、本フレームワークを活用したサステナブルファイナンスの組成・実行を通じて、更なる環境・社会課題の解決に取り組むとともに、お客さまと共に持続可能な社会の実現を目指してまいります。

JCR によるセカンド・パーティー・オピニオン (第三者評価)

<https://www.jcr.co.jp/download/1ea96aa03a8b188bfc0cc80047ac0b95a8b006003897a70b8b/25d1804.pdf>

(※1) 気候変動による気温上昇や豪雨・干ばつなどの影響を予測し、社会や経済への被害を最小化するための備えや対策のこと

以 上